



先生方の



この一冊

令和5年 11月

西東京市立青嵐中学校

「先生方のこの一冊」について、各先生からおすすめ文をいただきました。

「この一冊」の本は殆ど図書室に用意しています。ぜひ一度手に取ってみてください。

《図書室利用案内》

開室日・時間

毎日昼休み（図書委員による開室）

月・水・金の放課後

詳細は図書室カレンダーを見て下さい。

貸出冊数 1人 3冊

貸出期間 2週間



SF 先生（校長）

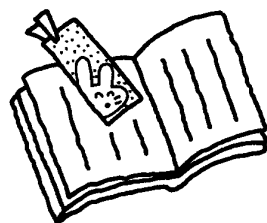
『きよしこ』

重松 清 // 著 新潮社



自分の気持ちを上手に伝えられない切なさや悲しさが伝わってきます。少年の気持ちで読んだりすると、その時によって感じ方が変わってくるのが不思議です。

中学生の時期に一度は読んでみてください。



YS 先生（副校長）

『大切なことに気づく 365 日名言の旅』

WRITES PUBLISHING // 編 ライツ社



旅行に行けなくても世界を旅した気分になる。とともに、偉人たちの名言があり、心を打たれる。自分に合った気になる言葉も見つかるであろうし、いつかこの場所に行ってみたいと思えるそんな一冊です。

AI 先生（技術）

『利他のすすめ』 大山 泰弘 // 著 WAVE 出版



24時間テレビで放送されたドラマ「虹色のチョコレート」のモデルとなった日本理化学工業株式会社。「日本で一番大切にしたい会社」にも紹介され話題になりました。その会社の会長「大山康弘さん」が「人はなぜ働くのか？」「人の幸せとは何か？」について、大きなヒントをくれる本です。

TA 先生（社会）

『マイナス50℃の世界』

米原 万里 // 著 角川ソフィア文庫



写真がいっぱい。北極より寒い所。ロシアのサハ共和国ヤクーツク（地図帳 56M3）などを訪れたときの体験記。

- ・走るヤクーツ馬をかすみ取り囲む。なぜ？
 - ・子どもたちはスキーやスケートをいつやるのか。冬か春先か？
- など面白い話題がいっぱい。

オフロプロコフさんから著者の米原万里（よねはら まり）さんに届いた手紙には、「お元気ですか。こちらはもうすっかりあたたかくなりました。外の気温はマイナス 21 度。暑いほどです」と書かれているくらいですから。

MT 先生（保健体育）

『大谷翔平86のメッセージ』

児玉 光雄 // 著 三笠書房



想像を絶する量の練習を、楽しみながらできるのはなぜか？大谷翔平選手の真の素顔が見えます。皆さんの中に潜む才能を見つけ、花開かせるために、大谷選手が日々心を込めて実行していたことが紹介されています。

DN 先生（国語）

『道をひらく』

松下 幸之助 // 著 PHP研究所



パナソニックグループ創業者、松下幸之助の随想。「運命を切りひらくために」「困難にぶつかったときに」など、いくつかに分類された名言が多数、収録されている。どのページを開いても勇気をもらえる一冊。

KI 先生（英語）

『とわの庭』

小川 糸 // 著 新潮社



盲目の女の子<とわ>は大好きな母と2人暮らし。でも母が言葉を、庭の木々たちが季節の移りかわりを、鳥の合唱団が朝の訪れを教えてくれたから、ちっともさみしくなかった。でもある日、母がいなくなり…壮絶な孤独の闇を抜けてその先に見えるものは何か。読み終えたあなたにも何かが見える物語です。

HH 先生（国語）

『姜尚中と読む 夏目漱石』

かんさんしゅん

姜尚中 // 著 岩波ジュニア新書



中学、高校の教科書には必ずと言っていいほど掲載されている、漱石の代表作を、政治学者の筆者が社会学や心理学といった視点から解説します。時代の流れを漱石がどう読み取っていたのか、人間の本質をどう捉えていたのかなどを筆者の分かりやすい表現によって一気に読み、理解できる。生徒にも保護者にもおすすめの1冊です。



KS 先生（家庭）

『植物図鑑』

有川 浩 著 // 幻冬舎文庫



『雑草という名の草はない。すべての草には名前がある』植物の名前をどれくらい知っていますか？その中で食べられる植物があることを知っていますか？物語はイケメンスーパー家政婦を拾うことから始まります。キュンキュンする言葉や心がポカポカする言葉があふれている1冊です！

NT 先生（国語）

『魔女と過ごした七日間』

東野 圭吾 // 著 角川書店



東野圭吾の100作目の著作。まず、指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺されたところから始まる。そして、元刑事の父を殺された中学3年生の男の子が、不思議な能力をもつ若くて美しい女性と冒険をしながら真犯人に迫る。AI監視システムや警察組織のあり方についても考えさせられる。わくわくドキドキしながら読める本です。

KK 先生（国語）

『日本のもと 日本語』

金田一 秀穂 // 監修 講談社



みなさんが小学校の時から受けてきた国語の授業ですが、なぜ「国語」とい教科名なのかは知っていますか？それを繙く手がかりになるのがこの一冊です。世界的に見てもとても珍しく難しい言語の一つ「日本語」。その奥深さを知ることによって、もっと言葉の世界が楽しくなるはず。イラストも多く読みやすい本なので、ぜひ一度手に取ってみてください！

TK 先生（技術）

『コンピュータ、どうやってつくったんですか？』

川添 愛//著 東京書籍



「コンピュータ」について基本的なことを分かりやすく学ぶことができます。コンピュータに興味があるけどよく分からないという人におすすめです。



KA 先生（社会）

『「愚」でもいい「直」に生きる』

武田 鉄矢//〔著〕 青春出版社



自分自身の生き方に悩んでいた時期にこの本と出会い、勇気づけられた一冊です。クヨクヨと思い悩んでいるよりも自分のやりたいことを真っ直ぐに、一心にやっていいんだ。と思うことができ、前に進むことができました。

TF 先生（社会）

『博士の愛した数式』 小川 洋子//著 新潮社



本屋大賞受賞作品。交通事故で脳を損傷し記憶が持続しない「博士」と家政婦の「私」とその息子「ルート」との心のふれあいを描いた作品。博士は数学と子どもと阪神タイガースをこよなく愛していて「オイラーの公式」や完全数、友愛数など作品中に式や数字がたくさん出てきます。数学が好きでも苦手でも読むと、ほのぼのとした思いと「数学」に対する見方が変わります。



KT 先生（保健体育）

『マスカレード・ホテル』

東野 圭吾//著 集英社



最後の伏線回収シーンが安定のクオリティです。ホテルが舞台のストーリーで多種多様な人物が登場するので誰が犯人なのか「勘」でもいいので予測しながら読むと面白いです。

EY 先生（保健体育）

『スタジオジブリ物語』

鈴木敏夫//責任編集 集英社

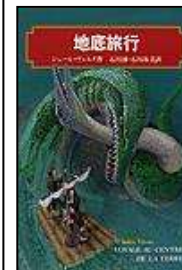


最初の「風の谷のナウシカ」から最新の「君たちはどう生きるか」まで裏側を知れる本です。ジブリ好きの私からしたらとっても面白い読みやすい一冊でした！興味ある人はぜひ！

KT 先生（音楽）

『地底旅行』

ジュール・ヴェルヌ//著 偕成社



ディズニーシーにあるミステリアスアイランドというエリア。ここはジュール・ヴェルヌという小説家の作品をもとに作られています。この「地底旅行」という小説もその世界を構成する一冊となっています。ロマン溢れる未知の地底世界！ワクワクする冒険をしてみませんか？

SN 先生（保健体育）

『あの夏の正解』 早見 和真//著 新潮社



新型コロナウイルスの影響によって中止された夏の甲子園。球児、監督、保護者は混乱する日々。もがき、苦しみそれでも終わりはくる。2020年、あの夏の正解とは…。元高校野球部マネージャーの私は、この本を読んで彼らの強さに感動しました。

KN 先生（国語）

『画本 厄除け詩集』

井伏 鱒二//著 金井田 英津子//画 パロル舎



「山椒魚」や「黒い雨」などの作品で知られる小説家ですが、味わい深い詩を多数作っており、それを好んで読んでいます。漢詩の訳詞もあり「『サヨナラ』ダケガ人生ダ」と訳された干武陵の「勸酒」には若い頃 多大なる影響を受けました。

AS 先生（理科）

『僕たちはどう生きるか』

森田 真生//著 集英社



ウイルスや気候がもたらす新たな現実には私達に、これまでとは別の生き方を始めることを求めている。これからの時代を私達はどのように生きるか考えるのに良い本である。

ES 先生（社会）

『勉強法が変わる本』

市川 伸一//著 岩波ジュニア新書



青嵐中学生のみなさん必見！OKJ「教えて考えさせる授業」の提唱者である市川伸一先生が、勉強の仕方について分かりやすく書いた本です。

HT 先生（数学）

『逆ソクラテス』

伊坂 幸太郎//著 集英社



「僕は、そうは、思わない」敵は先入観。子ども達がくり広げる戦いはとても面白く、その爽快感は読んだ人の日常を少しでも素敵なものにしてくれると思います。大人にも子どもにもオススメです。

MT 先生（理科）

『むげんぼな 夢幻花』

東野 圭吾//著 PHP研究所



東野圭吾ミステリーの真骨頂。禁断の花をめぐり、驚愕の真相が明らかになっていく長編。

MF 先生（英語）

『ライオンのおやつ』

小川 糸//著 ポプラ社



命を告げられた主人公が、自分が生きる最後の場所として選んだ瀬戸内の島にあるホスピスでの物語です。小川さんの作品の特徴であるおいしそうな食事（おやつ）の描写と人々の心温まるストーリーの感動作です！